

通知エラー メッセージ

IDS_ACCESS_FORBIDDEN によってアクセスがブロックされるのはなぜですか。

目次

[はじめに](#)

[「IDS_ACCESS_FORBIDDEN」エラーの意味](#)

概要

このドキュメントでは、エラーメッセージ「IDS_ACCESS_FORBIDDEN, BLOCK-WEBCAT」が表示されてアクセスがブロックされる理由について説明します。

「IDS_ACCESS_FORBIDDEN」エラーの意味

環境： Cisco Web セキュリティ アプライアンス (WSA)、 AsyncOS バージョン 6.0 以降、データ フィルター有効

症状： Web サイトにファイルやドキュメントをアップロードできず、ユーザは次のメッセージを受けとります。 このエラーメッセージは、特定の Web サイトへのログイン中に表示されます。

AsyncOS バージョン 6.0 以降には、データ セキュリティ (IDS) フィルターと呼ばれる新しい機能が搭載されています。 IDS 機能は WBSR スコア、URL カテゴリ、ファイル サイズに基づき、特定の Web サイトのファイル アップロードをブロックする場合に役立ちます。

通知メッセージ「IDS_ACCESS_FORBIDDEN」は、ファイルのアップロードまたはアクセスがデータ セキュリティ ポリシー設定に基づいてブロックされたことを示しています。

さらに、「BLOCK-WEBCAT」コードは特定の URL カテゴリをブロックするよう、設定されたことを示します。

この設定は、 [GUI] -> [Security services] -> [Cisco Data Security] で行います。

以下のいずれかの方法を使用して、アクセスを許可できます。

IDS ポリシーでアクセスをモニタする

1. [GUI] -> [Web Security Manager] -> [Cisco Data Security] で設定
2. 特定の URL カテゴリを**モニタ**するように設定します
3. 変更を**送信**し、**確定**します

カスタム URL カテゴリを使用してアクセスを許可する

1. [GUI] -> [Web Security Manager] -> [Custom URL Categories] で設定
2. Web サイトのカスタム URL カテゴリを作成します (example.com、.example.com など、両方のドメインを含める)
3. [GUI] -> [Web Security Manager] -> [Cisco Data Security] で設定
4. 上記のカスタム URL カテゴリを**モニタ**するように設定します
5. 変更を**送信**し、**確定**します

注意点 :

AsyncOS バージョン 6.3 以降では、Web サイトも動的コンテンツ分析 (DCA) エンジンによって分類できるようになりました。これを検証するには、[GUI] -> [Security services] -> [Acceptable Use Controls] で、DCA が有効になっているかどうかを調べてください。

DCA が有効であれば、[サポート ポータル](#)の実際の Web サイトの分類を検証し、2 番目の方法を使用してアクセスを許可します。